

平成25年度 胎内市算数部 活動報告

部長 伊藤 すみ子

1 研究主題

胎内市学力実態調査の結果を踏まえた授業・教材研究を行い、 指導力の向上及び小中連携を図る

2 研究内容の概要

(1) 第1回部会 「事業計画の立案」 会場 中条小学校 15:30～

(2) 第2回部会 「実践発表会」 会場 中条小学校 9:30～

① 中学1校年生の学力実態の結果を基にした指導の実践発表 (H24年度の胎内市学力実態報告書に拠る)

② 内容

・ 「数と計算」「図形」「関数」「数量関係」領域についての実践を紹介

・ 学力向上のために以下の3点を大事にしていく。

『具体的な操作活動を通して、性質や特徴を見つけ出す実感を伴う指導』

『面積図・ドット図を活用したり、算数の用語を使ったりして考える指導』

『自分や友達の考えを説明したり、話し合ったりする考えの交流を大切にしたい指導』



(3) 第3回部会 「公開授業指導案検討会」 会場 胎内小学校 16:10～

(4) 第4回部会 「公開授業及び参観・協議」 会場 胎内小学校 15:00～

① 指導者 山沢 正仁 教諭 (阿賀野市立水原小学校)

② 授業者 塚野 聡仁 教諭 (胎内小学校)

③ 単元名 「円の面積」

④ ねらい 円の面積を求める公式を用いて、曲線図形の面積を求めることができる。

⑤ 参観後の感想・意見

・ 曲線図形の中にある円や三角形に気付かせるために、デジタル教材で課題提示を行ったことは大変有効であった。

・ 基本問題を解決するためのワークシートは、手順が明確であり、それを使っている児童が多かった。手順だけでなく、「曲線図形を引く」ということを全体でおさえておく必要があった。

・ 理解を深めるためのターゲット問題の自力解決方法を隣同士で説明し合う段階では、自分の考えを分かってもらおうと図を指しながら説明したり、隣の子の説明を聞いてさらに考えを深めたりして積極的にかかわりながら解決方法を探る姿が見られた。



3 成果と課題

(1) 成果

・ 実践発表では、学力実態調査を活用して指導法について交流することができ、小中で連携していききたい指導方法を探ることができ、有意義であった。

・ 授業研修では、考えの交流場面を提案していただき、意見交流のために大切なことについて理解を深めることができた。

(2) 課題

・ 小中の連携した指導について、授業研修を通してさらに情報交換と意見交流を行う必要がある。